

**令和 3 年度
季節労働者雇用実態調査結果**

帯広・南十勝通年雇用促進協議会

令和3年度 季節労働者雇用実態調査結果

1. 調査目標

季節労働者の方々の労働条件や雇用実態、就労への意向を把握し、これからの事業の実施へ反映させることを目的とする。

2. 調査対象

当協議会管内の季節労働者

3. 調査方法

今までに協議会の事業へ参加した方及びハローワークより名簿提供を受けた季節労働者に対し調査票と返信用封筒を郵送し、協力を依頼した。さらに各事業参加の際にも直接協力依頼した。

4. 実施期間

令和3年7月1日を基準日とし8月末日を調査期限としたが、3月まで延長実施した。

5. 配布枚数及び回収枚数

季節労働者411名に対し直接送付し、91人の方々から回答を得た。(22.1%)

6. 調査結果の概要

【回答者】

有効回答者数は91人である。

「男性」が90.1%、「女性」が9.9%であり、今回も回答に占める「男性」の割合が非常に多い。

「男性」の年齢構成では「20歳代」32%が一番多く、次いで「30歳代」22%、「40歳代」18%、の順となった。

「女性」では「40歳代」が67%、次いで「50歳代以上」が22%の順であり、前年と同じ傾向であった。

また、回答いただいた方の居住地の92%が帯広市であった。

【家族構成】

特徴的な傾向は見られない。前年同様「1人」世帯の割合が一番多く47%、次いで「2人」世帯が21%、「3人」世帯が16%の順になっており、この結果は「20歳代」「30歳代」の若い世代の回答者が多いことを反映していると考えられる。

世帯での働き手についての設問は、47%が「無回答」であったため傾向を読み取ることはできないが、「いない」が24%、「1人」が23%の結果であった。

【年収・賃金】

季節労働者本人の年間収入で一番多いのは前年と同じく「200万円以上 250万円未満」が21%でしたが、「250万円以上 300万円未満」も同じく21%でした。また、前年は「150万円以上 200万円未満」と「300万円以上 350万円未満」がともに14%で2番目に多い回答でしたが、今回は「400万円以上」との回答が前年7%から16%に増加し、前年と比較すると年収の高い方の割合が多かった。

賃金の支給形態は、「日給制」が68%で一番多く、次いで「月給制」が16%となっている。「月給制」の割合は従来から少なく、今回も前年の21%からさらに少なくなっている。「時給制」は14%で前年11%から微増となっている。

支給日額では1番多いのが「10,000円以上 11,000円未満」が23%、次に「11,000円以上 12,000円未満」が21%、「12,000円以上 15,000円未満」が19%の順で前年とほぼ同じ傾向となり、家計における収入の役割でも「家計の中心」が87%、「その他の収入」が13%と前年と同じ傾向となった。

【業種】

勤め先の業種では、「建設業（職別工事業）」が前年28%から41%となり一番多く、次いで「建設業（総合工事業）」が34%から29%に減少したが二番目である。

全体としては「建設業」が突出し、次いで「農業」10%、「造園業」5%の順であり、例年と変わらない傾向になった。

また、「男・女」の傾向も「男性」では「建設業（職別工事業）」が40%、「建設業（総合工事業）」が30%、「農業」が9%の順で「建設業」に集中する傾向は例年と同じである。

「女性」は「建設業（職別工事業）」が44%、「農業」が22%という結果で例年と比べると「建設業（職別工事業）」の割合が若干多かった。

【雇用状況】

季節労働者になった理由では、「仕事の内容が自分に向いている」が34%で一番多く、次いで「常用の仕事がないため」が29%、「冬期間休暇がとれる」が14%、「収入が高い」が11%の順であった。例年一番多い理由とされてきた「常用の仕事がないため」を今回初めて「仕事の内容が自分に向いている」との回答が上回った。人手不足が続いている現状で人材確保のため常用の求人があることも要因のひとつと考えられる。

経験年数では、「昨年から」が19%、「今年から」が18%、「5年以上 10年未満」が16%の順で「10年未満」が全体の68%と経験年数の浅い方が多かった。

雇い入れの時期は「5月」の雇い入れが34%、「4月」が25%、「6月」が22%の順となり6月までに全体の8割が就労しており、雇い入れ時期として大きな変化はなかった。

また、離職時期も「12月」が26%と一番多く、次いで「3月」の22%、「2月」の13%の順で前年と同傾向にあった。

【雇用保険・離職期間】

雇用保険については「受給資格がついた」との回答が81%、「日数が足りず受給資格がつかなかった」と「雇用保険をかけてもらえなかつた」がともに1%であった。

「無回答」が 16%もいたため、前年との比較はできなかった。

離職期間の過ごし方は、「就労していない」が 57%と前年 55%から微増、次に「アルバイトなど短期・臨時の業務に就労」が、前回 32%から 24%に減少、「出稼ぎ」も 5%から 2%に減少しており、離職期間中に就労していない方の割合は増えている。

離職期間中の就労日数も「7 日未満」が 46%と一番多く、次いで「16 日～30 日」が 38%、「7 日～15 日」と「31 日～60 日」がとも 8%となり、30 日以下が全体の 92%を占めており、離職期間中に就労している人の割合、就労日数共に前年より少なくなっている。

【就労の考え方について】

現在の就労先は離職する前と「同じ会社」で働いているが 74%から 80%に増え、圧倒的に多い。次いで「同業の違う会社」が前年と変わらず 10%であったが、「他の業種の会社」は 14%から 9%へと減少した。実態としては大きな変わりはなく、離職前に働いていた会社との関係や今まで働いてきた業種へのこだわりなども感じられる結果である。

通年雇用化についての希望は、「今の仕事（職種）で通年雇用を希望」が前年と同じく一番多く 38%だったが、前年の 44%からは減少している。

また、「職種を問わず通年雇用を希望」も 20%から 11%に減少しているが、「このまま季節労働を継続」は 18%からは 27%へ増加した。

「どちらともいえない」も 23%いるが、通年雇用を希望する方の合計は 49%であり、前年の 64%を大きく下回る結果となった。

通年雇用を希望しない理由では「家で休養・ゆっくりしたい」が一番多く前年の 56%から 58%に微増となり、次いで「通年雇用は困難と判断している」が 28%から 23%に微減となったが、傾向としては前年と変わらない。

希望する通年雇用の仕事は「建設土木作業」が 61%と一番多く、前年 44%から大きく増えた。次に続く「農林漁業」が 11%、あとの業種は多岐にわたり非常に少なく、例年通り「建設土木業」が突出している状況にある。

「建設土木作業」が多いのは、回答者の 7 割が建設関係で働いていて「今の職種での通年雇用を希望」とする回答者が 4 割近くいる結果だと言える。

通年雇用に向けた活動では、「資格取得のため講習などを受講している」と「知人・友人などを通して求人情報を探している」がともに 21%で一番多く、次いで「ハローワークなどで求人情報を探している」と「求人情報誌などで求人情報を探している」がともに 17%の順になった。前年に一番多かった「特に活動していない」が 31%から 11%に減ったことや情報収集の「知人・友人などを通して」の紹介が 13%から 21%に伸びたことで情報収集全体では、43%から 55%に伸びている。

この 1 年間で通年雇用に向け就職試験や面接を受けた方は、前年 20%から今回 37%に増加しており従前より通年雇用化に向けた具体的な動きは出ている。

就職試験や面接を受けた方の求人情報の入手先については、「ハローワーク」が 35%で一番多く、次いで「知友人」が 29%、「求人情報誌」 18%の順であった。

また、就職試験や面接を受けていない理由では、例年と同じく「希望する業種・職種の求人がない」が一番多く今回も 59%であった。

【協議会について】

協議会の存在については「利用したことがある」が 54%で一番多く、次に「これまで利用したことないが、今後利用する予定」が 23%、「協議会のことは知っているが、利用したことない」が 12%で合わせると 89%の方は協議会を認知していることになる。

今年度の各事業への参加は「意識啓発セミナー」が前年 18%から 36%に、次いで「人材育成事業（作業免許）」が 27%から 32%に、「資格取得助成」が 7%から 14%へと拡大しているが、「特別教育・安全衛生教育」は 17%から 3%に減少という結果であった。

各事業の参加状況からは目立った傾向を読み取ることはできないが、事業の中には長期にわたって継続実施しているメニューも多く、そのような事業では参加者が大きく増えることは考えにくい。個々人の要望など実態調査の結果に基づき積極的に参加を働きかけることや通年雇用化に結び付く新たな事業メニューの調査、研究が引き続き求められている。

⑥人材育成事業（パソコン講習）	1	1%
⑦人材育成事業（ドローン講習）	5	4%
⑧人材育成事業（危険物乙種4類事前講習）	3	3%
⑨人材育成事業（2級土木）	0	0%
⑩季節労働者雇用実態調査	3	3%
⑪資格取得助成	16	14%
⑫特別教育・安全衛生教育	4	3%
⑬無回答	0	0%
	117	100%

問12 次年度の事業メニューに反映します。参加希望の講習があればお選びください。
(複数回答可)

①足場の組立て等作業主任者	8	7%
②型枠支保工の組立て等作業主任者	6	5%
③地山掘削及び土止め支保工作業主任者	9	7%
④はい作業主任者	2	2%
⑤採石のための掘削作業主任者	5	4%
⑥コンクリート造の工作物の解体等作業主任者	4	3%
⑦危険物取扱者乙種4類試験準備講習	5	4%
⑧パソコン講習	5	4%
⑨ドローン講習	9	7%
⑩2級土木施工管理技士	10	8%
⑪2級建築施工管理技士	4	3%
⑫2級建設機械施工技士	9	7%
⑬基幹技能者講習	2	2%
⑭2級ボイラー	3	2%
⑮その他	1	1%
⑯ない	40	33%
⑰無回答	0	0%
	122	100%

問13 協議会で行ってほしい事業等や要望などがございましたら、お書きください。

①意見欄に記入あり	3
-----------	---

【記述意見】

問3 お勤め先の業種に当てはまるものを①～⑭の中からひとつお選び下さい。

⑭その他

- ・サービス業 (帯広市・男性)
- ・サービス業 (帯広市・女性)

問10 あなたの就労に対する考え方についてお伺いします。

(5)-4 あなたが通年雇用されるために必要と考える資格・技能は何ですか。

- ・玉掛け、小型移動式クレーン (帯広市・女性・農業)

問12 次年度の事業メニューの参考とします。参加希望の講習があればお選びください。

また、その他希望する講習があれば、具体的にお書き下さい。

⑮その他

- ・第2種電気工事士 (帯広市・男性・農業)
- ・介護職員初任者研修 (帯広市・女性・職別工事業)
- ・CADによる製図等 (帯広市・女性・職別工事業)

問13 協議会で行ってほしい事業等や要望などがございましたら、お書きください。

- ・講習の曜日、時間等を検討していただきたい。 (帯広市・男性・サービス業)
- ・生活が苦しいです。仕事も年齢や経験がいかせす、女ひとりで家賃から光熱費など支払いもきつい。冬場になると仕事が一気になくなるのが最もきつい。
灯油代が払えない日々があつたり (帯広市・女性・食品製造業)
- ・起業に関するセミナーをひらいてほしい (帯広市・男性・農業)